

2018年第1週から第39週(*)までにNESID に報告された百日咳患者のまとめ

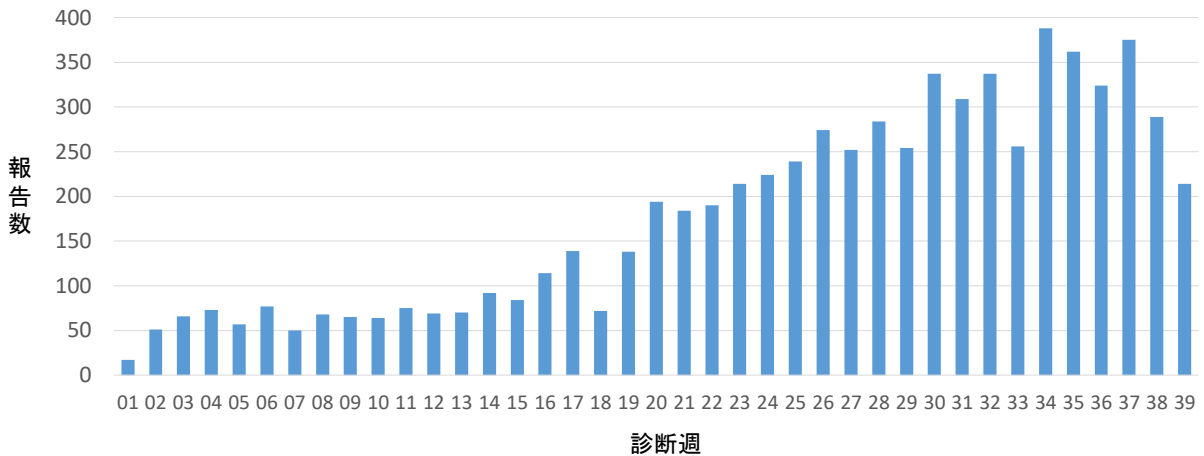
2018年第39週週報データ集計時点

国立感染症研究所

(*)第1週～第39週(2018年1月1日～9月30日)

1

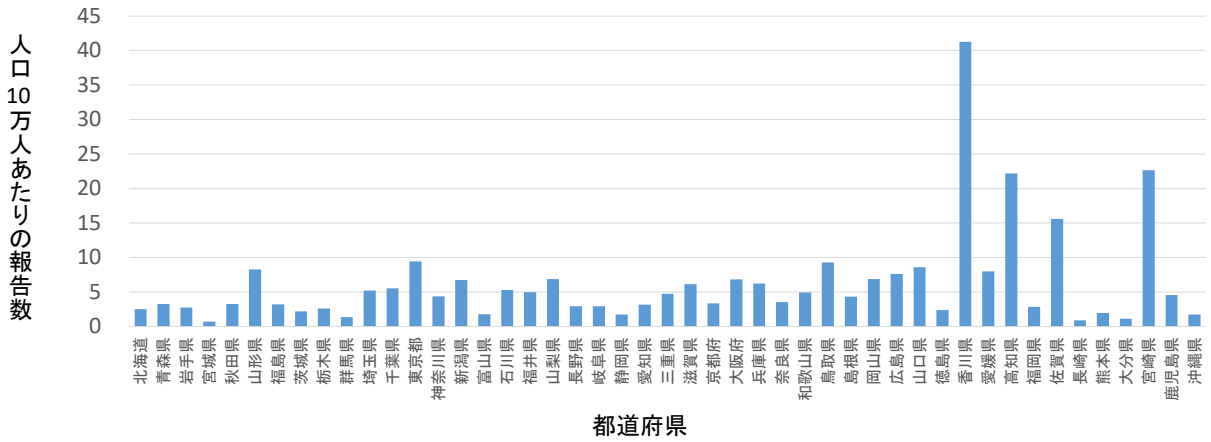
診断週別全百日咳患者報告数 (2018年第1週～第39週)(n=6,941)



週の平均報告数:178例(範囲:17～388例)

2

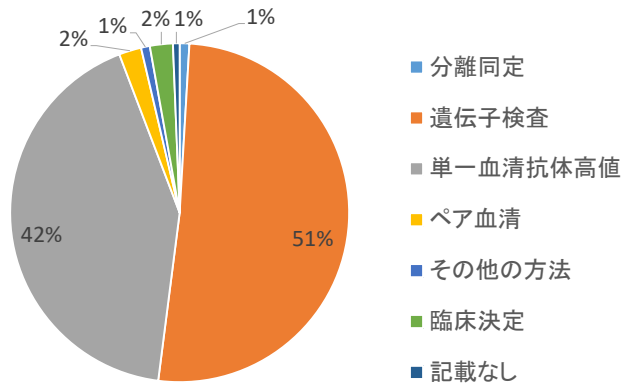
人口10万人あたりの都道府県別百日咳 報告患者数(2018年第1週～第39週)(n=6,941)



総務省統計局 2016年10月1日現在人口に基づき算出

3

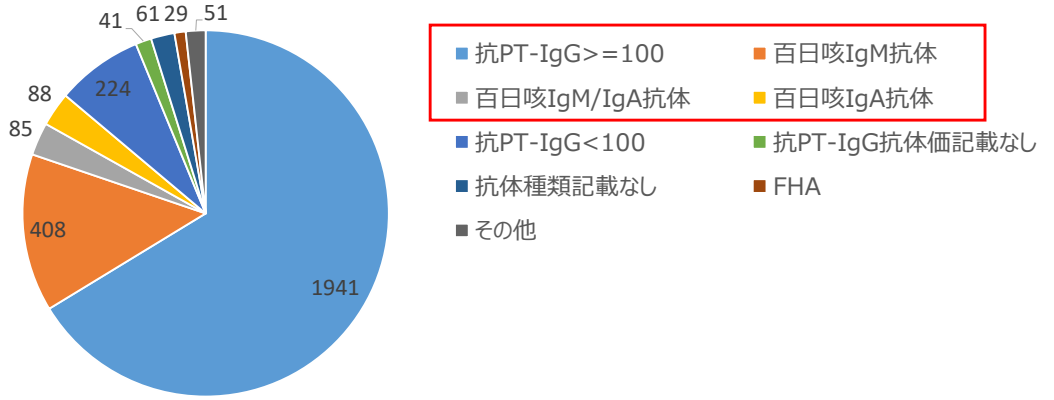
百日咳報告患者の診断方法 (2018年第1週～第39週)(n=6,941)



複数の検査法の記載がある場合、分離同定→遺伝子検査→ペア血清→単一血清抗体高値の順に一つの診断法を決定例)分離同定と単一血清抗体高値の記載がある場合には、分離同定を診断法とする

4

「単一血清の抗体価高値」を診断根拠に届けられた百日咳報告患者(n=2,928)の検査結果内訳



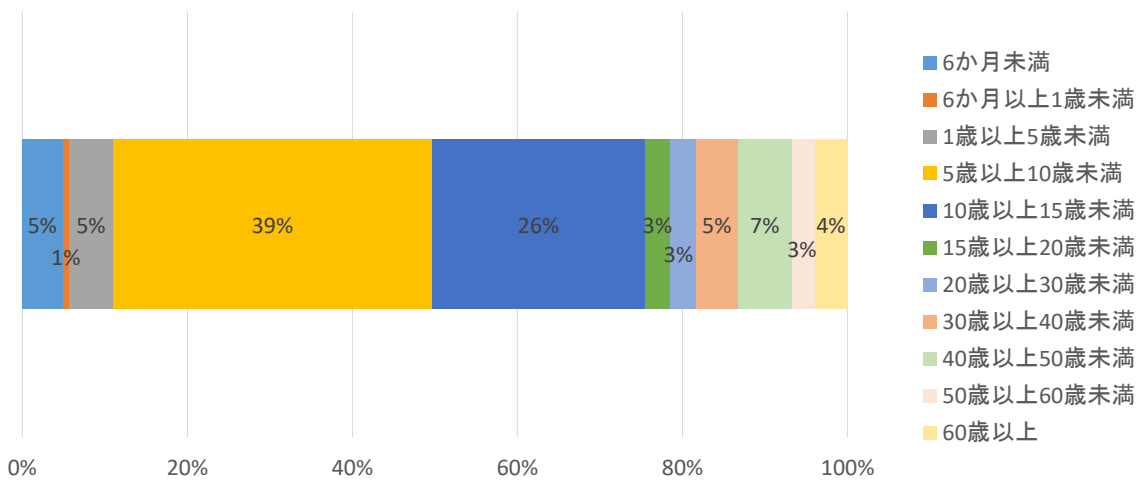
報告の約86%が届出ガイドライン*の診断基準を満たしていた(赤い四角の枠内)

(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

5

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*) (n=6,443)の各年齢群の割合(2018年第1週~第39週)

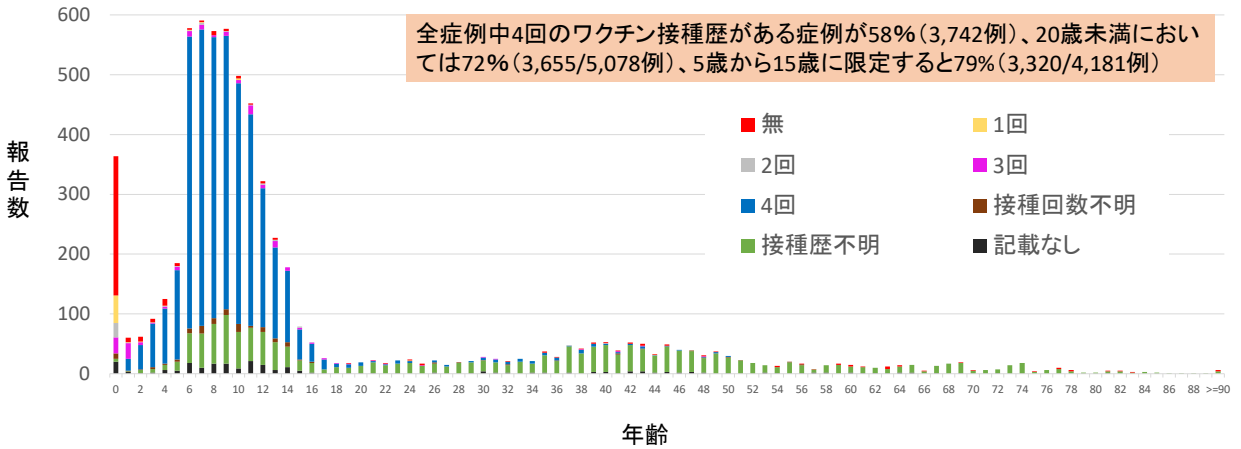


(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

6

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*) (n=6,443)の年齢分布(2018年第1週～第39週)

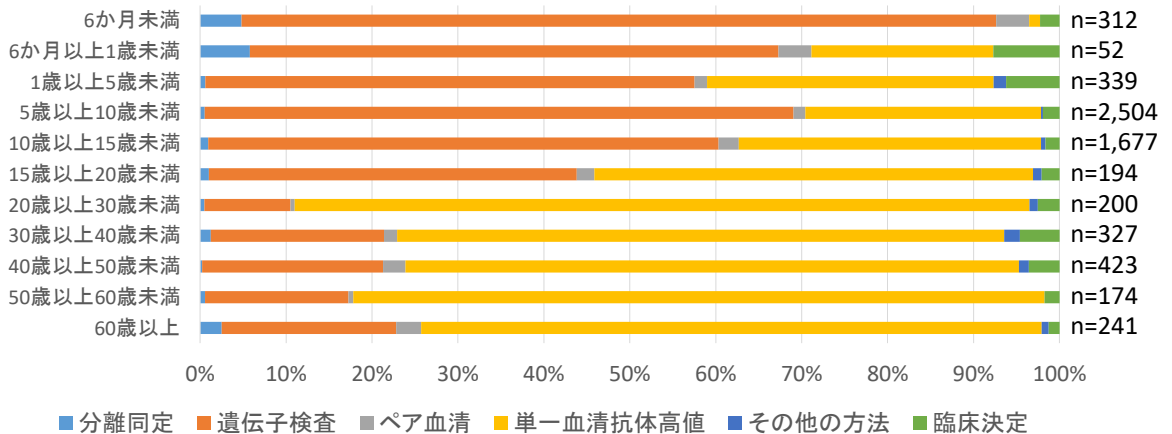


(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

7

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳症例(*)の年齢群別百日咳診断検査法の割合(2018年第1週～第39週)(n=6,443)

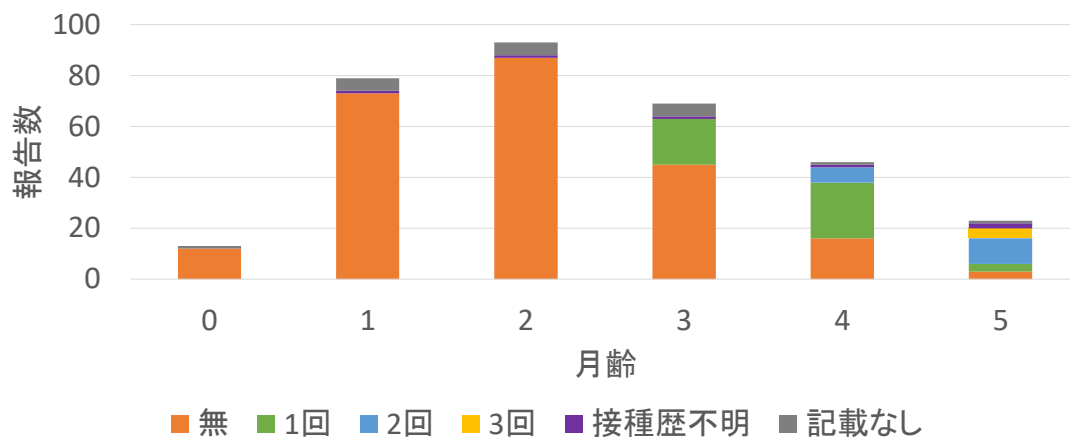


(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

8

6か月未満症例の月齢別報告数(予防接種歴別) (2018第1週～第39週) (n=323)



9

6か月未満症例の臨床症状・臨床経過 (2018第1週～第39週) (n=323)

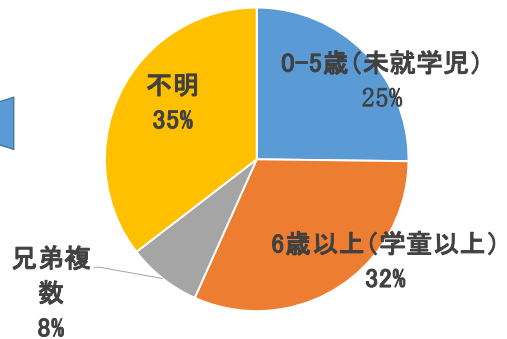
●NESID記載の症状

症状(重複あり)	N	%
無呼吸発作	75	23
チアノーゼ	99	31
肺炎	24	7
痙攣	1	<1
脳症	0	0

10

6か月未満症例の感染経路 (2018第1週～第39週) (n=323)

推定感染経路 (重複あり)	N	%
母親	54	17
父親	57	18
同胞	127	39
祖父母	17	5
その他	15	5
不明	62	19



その他の内訳:いとこ(6)、叔母(5)、叔父、同胞が通う保育園の保育士、曾祖母、出生時に同室入院中していた他児の母親(他児も確定例として報告あり)

11

今回のまとめ

- 全数報告が開始され9か月が経過した時点での百日咳報告患者についてまとめた
 - 全報告百日咳患者数 6,941例
 - 届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者数 6,443例
 - うち4回のDPTワクチン接種歴有の割合 58% (5～15歳に限定すると79%)
 - 入院例 212例 (うち182例が6か月未満児)
- 6か月未満、7歳をピークとした5～15歳、30～40代に患者集積あり
- 小児ではLAMP法による診断の割合が高いが、成人では単一血清抗体価による診断の割合が高い

12

【参考】百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)

- 感染研のホームページをご覧ください

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

- 届出ガイドラインは保健所に届け出る基準を示しており、臨床診断を目的としたガイドラインではない
⇒統一した基準で全国の百日咳の疫学情報を収集する目的
- 届出ガイドラインを満たさない百日咳症例(臨床診断例)もあり得る
(治療や感染拡大防止策は同じ)